

**社会的責任に関する円卓会議**  
**第 1 回 人を育む基盤の整備ワーキンググループ議事要旨**

日 時：平成 22 年 7 月 6 日（火）15：00～17：00

場 所：経団連会館 20 階 第 2 会議室

参加者：

（委員）斎藤委員、倉津委員、古谷委員、松古委員、伊藤委員、岸田委員、  
村上委員、加藤委員、高口委員、川島委員

（関係者）全国消費者団体連絡会・営事務局員、文部科学省・佐々木係長、  
経団連・池田、網野

**主要な議論内容と合意事項**

**1. ワーキンググループの主査の選任**

- ・互選により、古谷氏および斎藤氏を共同主査に選任した。

**2. 報告**

- ・主査より第 12 回運営委員会（6 月 11 日開催）及び運営企画チーム（6 月 25 日開催）における議論内容および合意事項について報告。

**3. 合意事項**

①ワーキンググループの運営について

- ・「人を育む基盤の整備WG 設立趣意書」に記載された要領で、2 ヶ月に 1 回程度開催する。
- ・次回WG で、個別課題の行動計画の骨子（案）を議論する予定。

②学習会の運営について

- ・月に 1 回程度開催し、日程はその都度調整する。
- ・学習会のテーマについては、各セクターが積極的に提案する。
- ・次回の学習会は、8 月後半に開催する。
- ・テーマの候補
  - 1) パートナリーシップ・サポートセンターによる、「企業・市民・NPO 協働フォーラム」（7 月 16 日開催）の報告。
  - 2) 文部科学省による、学校支援地域プログラム事業への取り組み。

③協働プロジェクトの推進について

- ・協働プロジェクトの推進にあたり、各セクターから委員を推薦し、実行委員会を設立する。
- ・委員会設立に先立ち、まずワーキンググループ共同主査および文部科学省で企画案を作成する。

以 上

## 社会的責任に関する円卓会議

### 第2回 人を育む基盤の整備ワーキンググループ学習会 議事要旨

日 時：2010年9月3日（金）15：00～17：00

場 所：経団連会館 20階 第2、3会議室

参加者：〔委員〕古谷委員、斎藤委員、柴田委員、森委員、倉津委員、岸田委員  
村上委員、高口委員、岡本委員、川島委員  
〔関係者〕文部科学省・榎木氏、村田氏、青山氏、環境省・増井氏、  
消費者庁・三角氏、NNネット・黒田氏、全国消団連・菅原氏、  
経団連・池田、萬屋、神谷

#### 1. ヒアリング

##### (1) 文部科学省の取り組み：

文部科学省生涯学習政策局社会教育課放課後子どもプラン連携推進室  
子ども学習活動推進係長 榎木氏説明

◇文部科学省における「学校・家庭・地域の連携協力の推進」について、地域で教育を支える必要性を述べたうえで、「学校支援地域本部事業」ならびに「放課後子ども教室推進事業」を中心に、学校を拠点にして地域ぐるみで子どもの教育に取り組んでいる施策について説明があった。

◇意見交換では、「地域においてどの学校が両事業の実施校なのか、第三者にはわからないので、マッチングの仕組みが必要」といった意見が出された。

##### (2) 特定非営利活動法人パートナーシップ・サポートセンター(PSC)の取り組み：

PSC代表理事 岸田氏 説明

◇本年7月に名古屋市で開催された「企業・市民・NPO 協働フォーラム」の様子を報告したうえで、企業・市民・NPOの協働を進めていくための課題として、企業とNPO間の協働を推進するコーディネーターの養成や協働を通じてCSRを果たすという企業側の意識醸成、NPO側における自覚や組織基盤の強化等の必要性について指摘があった。

◇意見交換では、「協働を進めるには、NPO・NGOのガバナンス強化が課題」といった意見が出された。

#### 2. その他

(1) 消費者庁より、9月3日に公表した「多様な主体による消費者教育連携推進事業実施に係る公募」について紹介があった。

(2) 主査より、消費者・市民教育モデル事業の企画書について説明があった。

(3) 次回の学習会は、消費者庁ならびに環境省・ESD-Jの取り組みについてヒアリングを行う。日程は迫って調整する。

(4) 参加者より、本WGとして、年度末の協働戦略策定までの大まかな日程を早く決めてほしい、スカイプを導入して遠隔地でもWGに参加できるようにしてほしい、といった要望がだされた。

以 上

## 社会的責任に関する円卓会議

### 第3回 人を育む基盤の整備ワーキンググループ 議事要旨

日 時：2010年10月5日（金）9：30～12：00

場 所：経団連会館 20階 第1会議室

参加者：〔委員〕古谷主査、斎藤主査、柴田委員、倉津委員、村上委員、  
山根委員、伊藤委員、加藤委員、岡本委員、川島委員  
〔関係者〕文部科学省・佐々木氏、浅井氏、吉田氏、村田氏、  
環境省・井上氏、増井氏、CSO ネットワーク・黒田氏、  
全銀協・渡邊氏、損保協・森氏、ACAP・清水氏、  
NACS・常山氏、狩野氏、全国消団連・菅氏、経団連・池田、網野

#### 1. 学習会

##### (1)消費者庁の取り組み：消費者庁参事官 加藤氏説明

◇消費者教育の課題、消費者教育推進会議の概要および本年度に消費者庁が取り組んでいる事業などについて説明があった。

##### (2)環境省におけるESDの取り組み：

環境省 総合環境政策局 環境教育推進室長 岡本氏 説明

◇ESDの推進に係る環境省の取り組みおよび「+ESDプロジェクト」などについて説明があった（資料1参照）。

##### (3)文部科学省におけるESDの取り組み：

文部科学省 大臣官房国際課国際政策室長 浅井氏 説明

◇ESDの推進に係る文部科学省の取り組み、ユネスコスクールの概要および今後の展開などについて説明があった（資料2および資料3参照）。

##### (4)ESD-JにおけるESDの取り組み：ESD-J 事務局長 村上氏 説明

◇ESDに関する課題などについて補足説明があった（資料4参照）。

#### 2. ワーキンググループ

##### (1)協働戦略のための行動計画案作成について

◇古谷主査より、行動計画の骨子案について説明の後、意見交換を行った。

##### (2)消費者・市民教育モデル事業について

◇斎藤主査より、2010年度消費者・市民教育モデル事業の企画案について説明の後、意見交換を行った。①2011年2月22日の午前中にシンポジウム、午後に出前授業・模擬授業等（6コマ程度）を開催すること、②分野にテーマを絞って、出前・模擬事業、教材展示（、シンポジウム）を行うことなどについて提案した。

##### (3)2011年度の「新しい公共」関連施策について

◇川島委員より、平成23年度予算概算要求における「新しい公共支援事業」について説明の後、意見交換を行った。

##### (4)今後のスケジュール

◇今後のスケジュールの確認を行った。

以 上

## 人を育む基盤の整備WG 行動計画（骨子案）

2010 年 10 月 21 日

人を育む基盤の整備WG

### ■協働によって取り組むべき課題

持続可能な社会を担う人材育成に関し、次の課題を優先課題に掲げて、有効な人材育成のための協働の取り組みを推進

- ① 取り組むべき教育における各主体の取り組みについての情報共有
- ② 他の主体（WG不参加）による人材育成のための教育事例の掘り起こし  
例：学校、地方公共団体、法曹界など
- ③ 取り組むべき教育についての考え方・方針・課題の整理  
例：消費者・市民教育、ESD(持続可能な開発のための教育) など
- ④ 取り組むべき教育についての今後の協働のあり方の検討

### ■成果目標

- ① 必要な教育内容についての各主体の合意
- ② 協働の取り組みの意義の普及
- ③ 協働事例の拡大

### ■主体間の協働の取り組み

- ① 消費者・市民教育事例の収集
- ② 消費者・市民教育の実践
- ③ 各主体の取組への協力

### ■協働プロジェクト案

- ① 協働による消費者・市民教育に関する小冊子・教材等の作成・普及
- ② 消費者・市民教育モデル事業(実践事例の紹介など)の全国展開

### ■政府への政策提言

社会的責任に関する円卓会議の環境整備として、円卓会議から提案された事業への人的・財政的支援

- ① 各府省の既存事業との連携・調整
- ② 新規提案事業を速やかに実施できる仕組み（あらかじめ円卓会議関連予算枠を取るなど柔軟な運用）
- ③ 複数府省が関係する円卓会議関係事業の推進の仕組みの構築（司令塔、予算調整、事業内容の調整）
- ④ 円卓会議自体を契約主体とする事業を可能とする仕組みの構築

以 上